

当用漢字表は、1946年（昭和21年）に制定された漢字表です。「現代国語を書きあらわすために、日常使用する漢字の範囲」（内閣告示第32号より。ただし漢字を常用漢字体に改めた）を定めたものです。1942年（昭和17年）の「標準漢字表」を基礎として審議され、文字の種類が選定されました。

1,850字を含みます。うち131字には簡易字体が採用されています。

3年後の1949年、当用漢字字体表が制定され、旧字体の煩瑣な字体が全面的に改められました。

今日では、より制限色の薄い常用漢字表に置き換えられています。

参照

- ・ 当用漢字表 - 国語施策沿革資料12（平成9年1月17日）漢字字体資料集（諸案集成2・研究資料）より

関連項目

- ・ 常用漢字表